

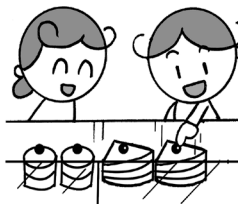



3年

国語	こそあど言葉の使い方	3年	組
		名前	

どれ・この・あそこ・その

<p>どれが ぼくのかさ だったかな。</p> 	<p>そのゲーム ください。</p> 	<p>このケーキ とてもおいしい のよ。</p> 	<p>あそこが 図書館です。</p> 
---	--	---	--

また、() に当てはまるこそあど言葉を書きましよう。




一度しか使えないよ。


場面	物事	場所	方向	様子
話し手に 近い場合	この これ	ここ	こちら こっち	(こんな) こう
相手に 近い場合	その それ	(そこ)	(そちら) (そっち)	そんな そう
どちらから も遠い場合	あの あれ	あそこ	あちら (あっち)	(あんな) ああ
はっきり しない場合	(どの) どれ	(どこ)	(どちら) どっち	(どんな) どう

- ① 山路来て 何やらゆかし すみれ草 (春)
- ② 五月雨を集めて早し 最上川 (夏)
- ③ 柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺 (秋)
- ④ 遠山に 日の当たりたる 枯野かな (冬)


①～④の俳句の季語(季せつ)を表す言葉(を)でかこみ、() にその季せつを書きましよう。




どの本




あの本



その本



この本



かしん